

地域別実行計画

- 細入地域 -

富山市

目 次

1. はじめに	1
(1) 計画の位置づけ	1
(2) 計画の策定の方法	3
2. 地域特性	4
(1) 地理的特徴	4
(2) 人口	5
(3) 文化・歴史	7
(4) 交通	8
(5) まちづくり	9
(6) 施設立地	12
(7) 防災	13
3. 公共施設	14
(1) 現況	14
(2) 課題	18
(3) 課題の解決策	21
(4) まとめ	22
4. 地域の将来的な公共施設の再編方針	23
(1) 集会施設	24
(2) 図書館、博物館等	24
(3) スポーツ施設（体育館、プール、その他スポーツ施設）	24
(4) レクリエーション・観光施設	25
(5) 学校（小学校、中学校）	25
(6) 幼保・こども園（保育所）	25
(7) 保健施設	26
(8) 庁舎等、消防施設、その他行政系施設	26
5. 地域で優先して取り組むべき個別具体施設の整備方針	27
(1) 細入中核型地区センターの再編	27
(2) その他の施設の再編	30
(3) スケジュール	31
6. おわりに	32

1. はじめに

(1) 計画の位置づけ

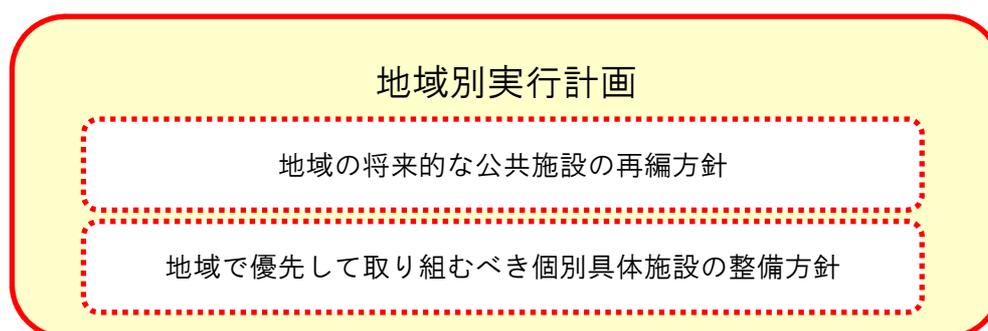
富山市は、公共施設等の管理を計画的に行い、限られた財源の中で将来にわたって適切な維持管理を行うため、公共施設マネジメントの取り組みを進めています。公共施設等の更新や統廃合、長寿命化などを計画的に行うことを目的として平成 28 年度に「富山市公共施設等総合管理計画（以下「総合管理計画」という。）」を策定しました。この計画をより進めるため、平成 29 年度には「富山市公共施設マネジメントアクションプラン戦略編・実行編（以下「アクションプラン」という。）」を策定し、今後の公共施設等の具体的な見直しの方向性を示しつつ、公共施設の再編を目指しています。

公共施設の再編は具体的には、以下の 2 種類の方法で実施していきます。

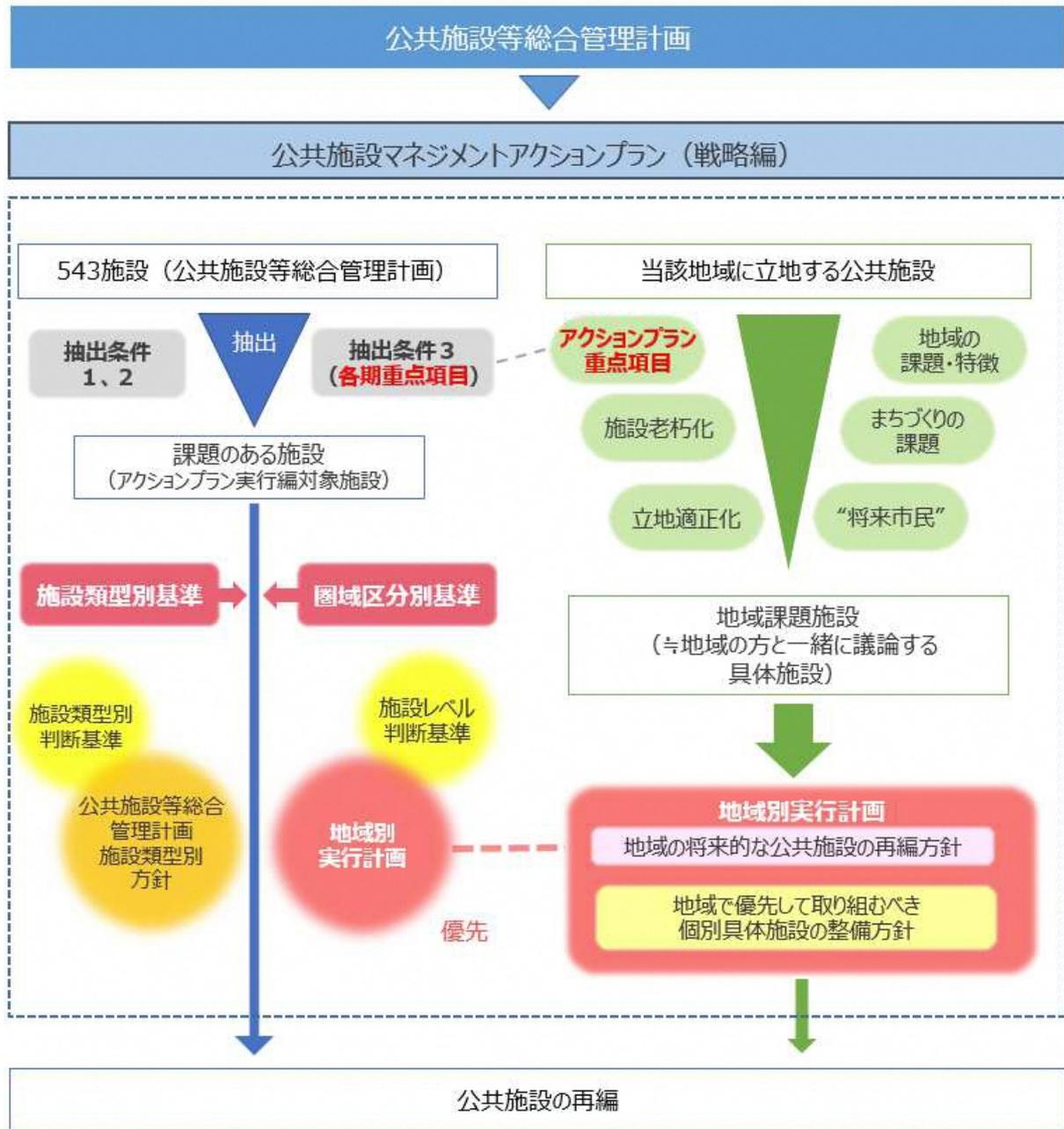
- ① アクションプランで定める「課題のある施設」について、「施設類型別基準」及び「圏域区分別基準」に従い、存続の可否及び複合化・改修・改築・廃止等の整備手法を定めます。
- ② 地域ごとに立地する施設を対象として、各地域のまちづくりと公共施設等の課題に即して、それらを解決するための将来的な施設整備の方向性の検討及び特に優先して取り組んでいくべき具体的な施設について、存続の可否及び複合化・改修・改築・廃止等の整備手法を定めます。

「地域別実行計画(以下「本計画」という。）」は、②の方法によって、5～20 年を目途とした中長期的取り組み及び 5 年を目途とした短期的取り組みを定める「地域の将来的な公共施設の再編方針」と、特に課題が大きいため、優先的に取り組みを進め、5 年以内の実現を目指す「地域で優先して取り組むべき個別具体施設の整備方針」を定めるものです。

本計画は、地域の状況を踏まえた、公共施設等の再編を具体的に進めていくために定めるものであり、地域の課題解決に資するものです。富山市都市マスタープランにより定めた富山市内の 14 地域ごとにこの計画を策定し、公共施設等の再編に活用していきます。



図表 1 公共施設の見直し検討プロセス



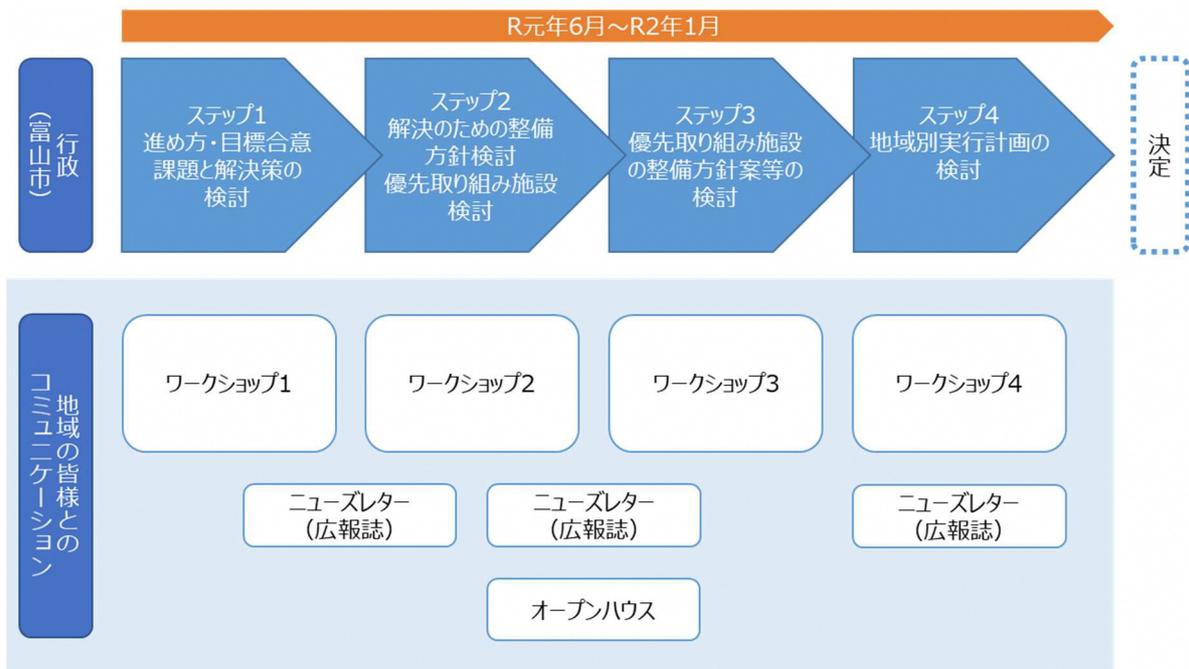
(2) 計画の策定の方法

本計画における、公共施設の整備の方向性は、原則として総合管理計画において定めた施設類型別方針と、アクションプランにおいて定めた施設類型別判断基準との整合を図りつつ検討していきます。

また、地域の課題やまちづくりの課題の抽出にあたっては、富山市都市マスタープランや富山市立地適正化計画等の既存計画を踏まえて行っています。

その上で、将来を見据えたまちづくりや施設整備のあり方について、地域にお住まいの方々の思いを反映させていくことが必要不可欠であると考え、4回にわたるワークショップを開催し、細入地域にお住まいの21名の方々にご議論をいただきながら検討を重ねました。さらに、細入地域のより多くの方々から計画についてのご意見をいただくため、ニュースレター(広報誌)を地域内の全戸に配布したほか、計画案をパネル展示してご意見をいただくオープンハウスを開催し、寄せられた様々なご意見を踏まえて本計画の策定を進めました。

図表 2 地域の皆さんの参加による計画づくり



ワークショップの様子



オープンハウス (パネル展示型説明会)

2. 地域特性

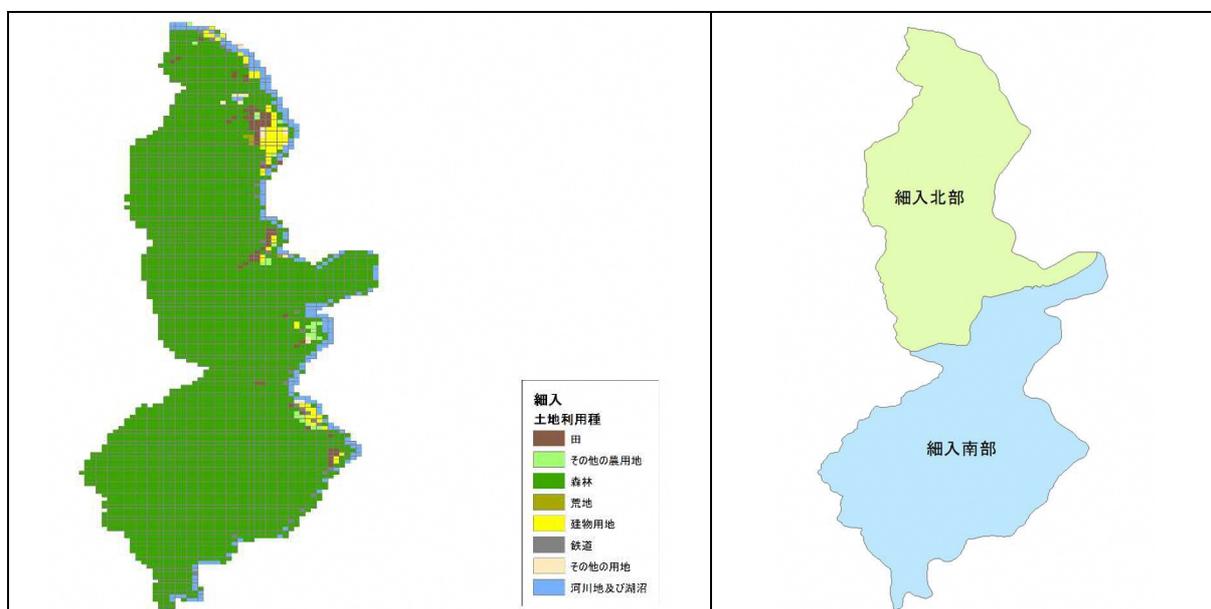
(1) 地理的特徴

細入地域は富山市の南に位置し、市内の他の地域では、大沢野地域、八尾地域、他自治体では岐阜県飛騨市と隣接しています。面積は約 40.2 k㎡です。

細入地域の土地利用をみると、森林が約 9 割、河川地及び湖沼が約 0.5 割を占めています。地域の東側に建物用地と田が混在する地域がみられ、その他は森林など自然豊かな地域が広がっていることが分かります。

また、細入地域は 2 つの地区（細入北部、細入南部）で構成されています。

図表 3 細入地域の土地利用と地区



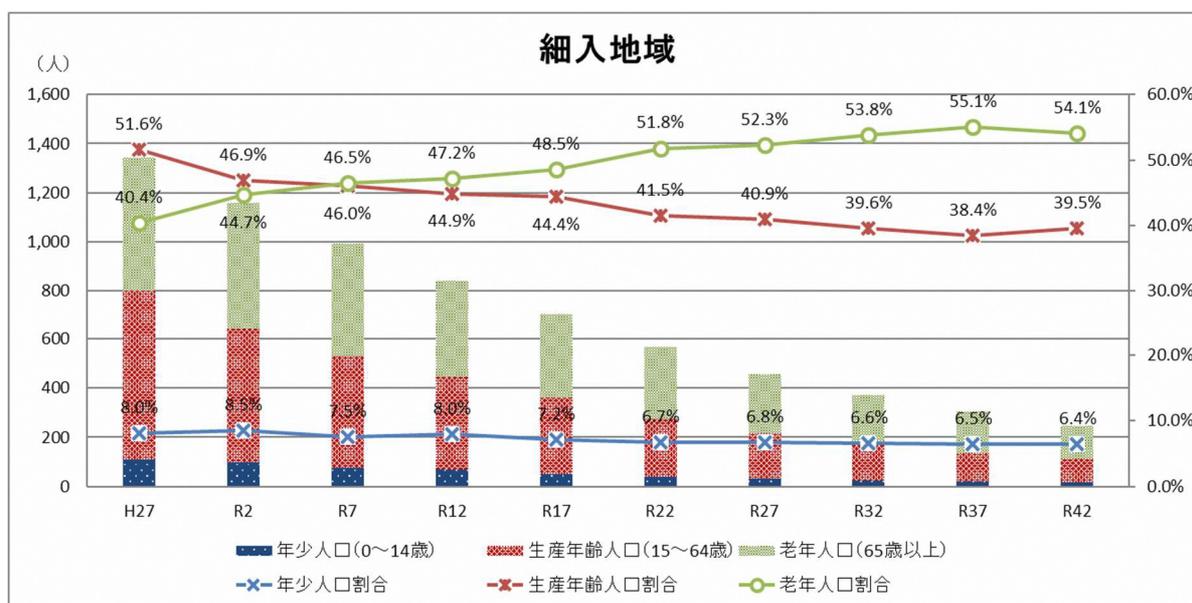
出所：国土数値情報（土地利用細分メッシュデータ、小学校区データ）より作成

(2) 人口

細入地域の人口は、2015年（平成27年）の時点では1,342人でしたが、2060年（令和42年）までに約8割減少し、245人程度になり、富山市内で最も人口減少が進行する地域と予想されています。

人口推計を人口区別にみると、年少人口、生産年齢人口、高齢者人口のすべての区分で大きく減少し、特に生産年齢人口は、2060年（令和42年）には2015年（平成27年）時点の1.5割程度になると予想されています。

図表4 細入地域の人口推移



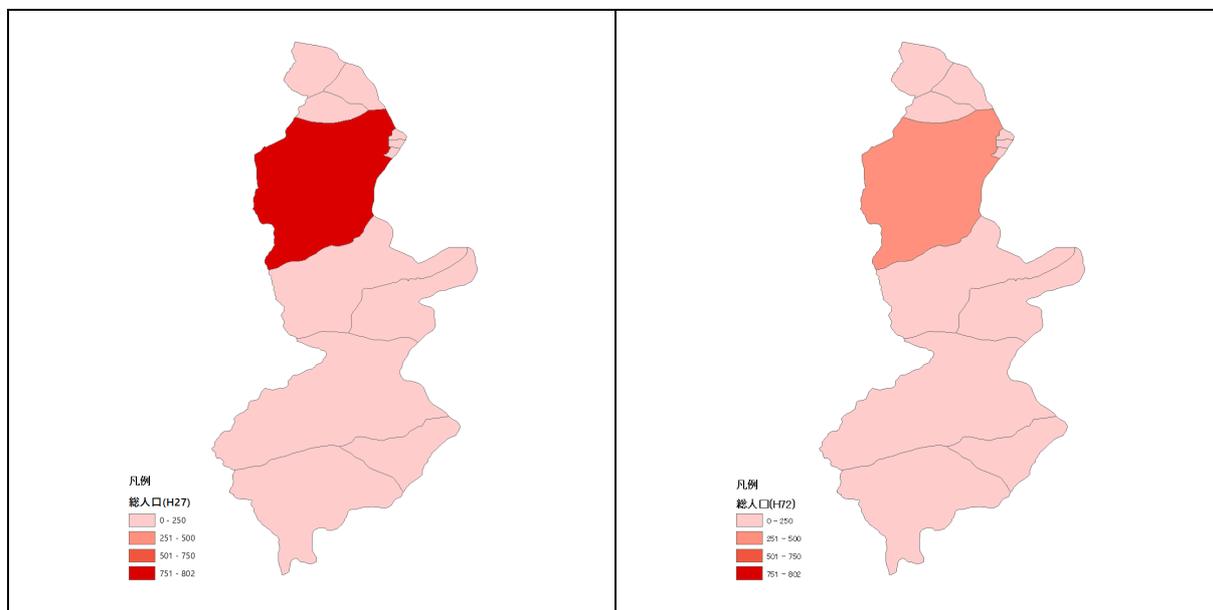
出所：富山市公共施設マネジメントアクションプラン戦略編

備考

- ・人口推計は、コーホート要因法を用いて算出。
- ・基準人口は平成27年10月1日現在の国勢調査の数値を使用。

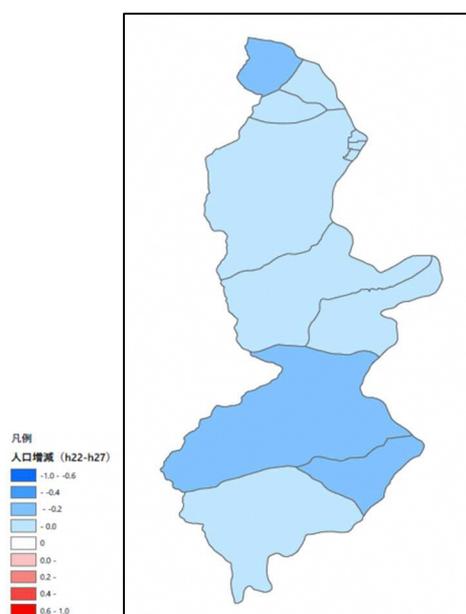
町丁目別の人口分布をみると、細入北部地域に人口が集中していることが分かります。また人口増減を見ると、細入地域では人口が増加すると予想される地域はなく、地域全体で減少率が大きくなっています。

図表 5 細入地域の人口分布比較（平成 27 年と令和 42 年）



出所：地域で見る統計（統計 GIS）、国際調査より作成

図表 6 細入地域の人口増減図（平成 22 年から平成 27 年）



出所：地域で見る統計（統計 GIS）、国際調査より作成

(3) 文化・歴史

1) 歴史

細入地域は、飛騨と越中の交通の要衝として古くから開け、猪谷関所が置かれていました。越中からは塩漬けブリ、塩、米、酒などが、飛騨からは木材などが運ばれていました。

現在は、地域内に国道 41 号、高山本線が通っており、交通利便性が高い地域です。

2) 自然

地域内には県定公園神通峡があり、美しい景観を楽しむことができます。特に、寺津橋から吉野橋の間を片路峡と呼び、紅葉が美しいことでも有名です。

3) 観光

細入地域の特産であるらっきょう漬けをはじめ、越中と飛騨の特産品を販売する道の駅細入「飛越ふれあい物産センター林林」、「美人の湯」として名高い神通峡岩稲温泉「楽今日館」、スポーツやレジャーが楽しめる割山森林公園「天湖森」など観光資源が豊富です。

(4) 交通

細入地域には、JR 高山本線の榆原駅と猪谷駅が立地していて、榆原駅の北東に住宅地が形成されています。榆原駅の運行本数は 22 本/日で、30 人/日（H30）の乗客数があります。また、猪谷駅の運行本数は 22 本/日（特急除く）で、287 人/日（H30）の乗客数があります。

細入地域は、富山地方鉄道がバスを運行しています。

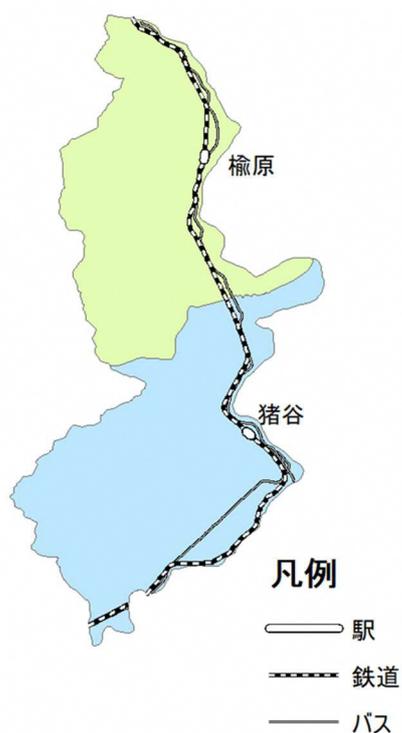
図表 7 鉄道運行状況（平成 31 年 3 月現在）

駅	乗客数	運行本数（特急除く）
榆原駅	30 人/日	22 本
猪谷駅	287 人/日	22 本

図表 8 バス運行状況（平成 31 年 3 月現在）

路線 バス	系統	運行本数 (平日)
富山 地方 鉄道 バス	赤十字病院～猪谷	9 本
	神岡・新穂高・平湯	5 本

図表 9 細入地域の公共交通路線図



出所：国土数値情報（バスルート、鉄道データ）より作成

(5) まちづくり

富山市では今後の少子高齢化、人口減少などの時代変化に対応するため、平成 20 年 3 月に「富山市都市マスタープラン」を策定し、公共交通を軸とした拠点集中型（お団子と串）のコンパクトなまちづくりを進めています。

富山市都市マスタープラン内では、細入地域は、榆原駅周辺を地域生活拠点として位置付けています¹。また、県定公園神通峡等に代表される自然環境や割山森林公園等を活かしたレクリエーション拠点の形成、旧飛騨街道に由来する歴史文化資源を活かした歴史文化拠点の形成が示されています。

図表 10 細入地域の土地利用方針

農業・自然系	<ul style="list-style-type: none">・地域生活拠点である榆原駅周辺は、公共公益施設など生活関連機能の充実に努めます。・榆原駅北側の駅徒歩圏では、周辺の自然環境や鉄道利便性、生活関連機能の集積を生かした定住環境の形成を図ります。・国道 41 号の沿線に点在する榆原、庵谷、猪谷の集落地域は、人口及び既存コミュニティを維持するための良好な生活環境を形成します。・点在する集落の周辺に位置する農地は、農業保全地域として、虫食いの農地転用を抑制し、良好な営農環境を保全します。・山林は、森林環境保全地域として、豊かな自然環境の景観の保全を図るとともに、森林を活かしたレクリエーションの場としての利活用を図ります。
--------	--

出所：富山市都市マスタープラン

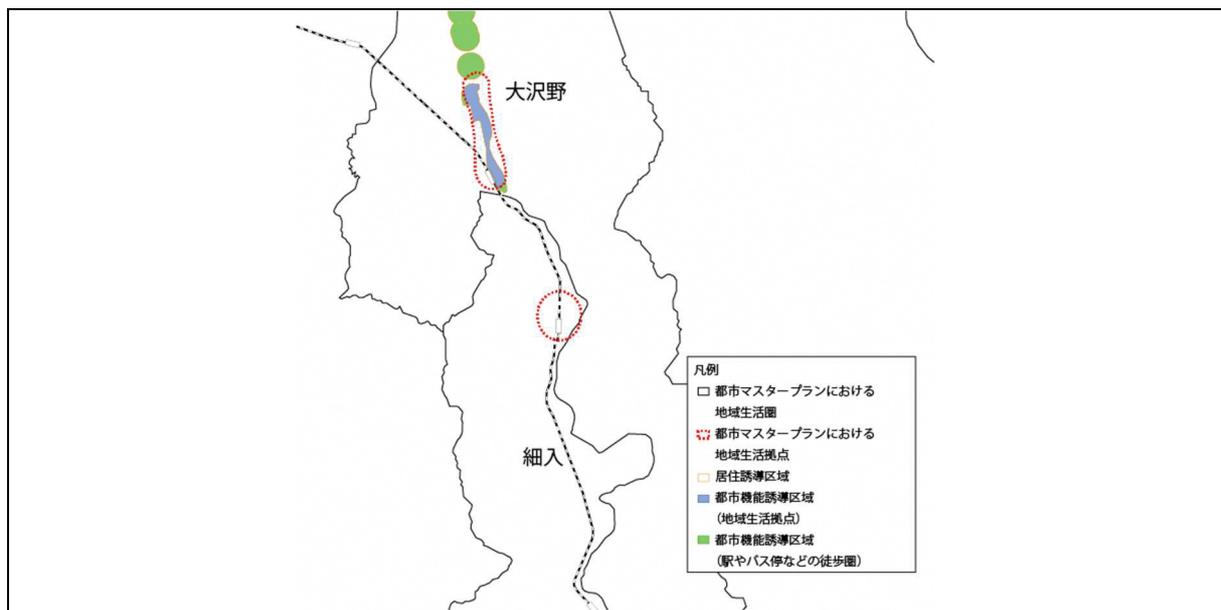
¹ 都市計画マスタープランによると、地域生活拠点には、日常生活に必要な商業等の諸機能の集積を図ることとしています。

「富山市立地適正化計画」は、富山市都市マスタープランで定めたまちづくりの方針に従い、市町村が都市全体の観点から作成する、居住機能や福祉・医療・商業などの都市機能の立地、公共機能の充実等に関する包括的なマスタープランで、平成 29 年 3 月に策定されました。

立地適正化計画では、駅やバス停の徒歩圏に「居住を誘導するエリア（居住誘導区域）」と「都市機能を誘導するエリア（都市機能誘導区域）」を定めてコンパクトなまちづくりを進めることとしていますが、細入地域では居住誘導区域及び都市機能誘導区域の指定はありません。

榆原駅周辺が地域生活拠点に指定されており、榆原駅から概ね半径 1km の範囲に商業施設を誘導することとしています。

図表 12 細入地域の居住誘導区域・都市機能誘導区域

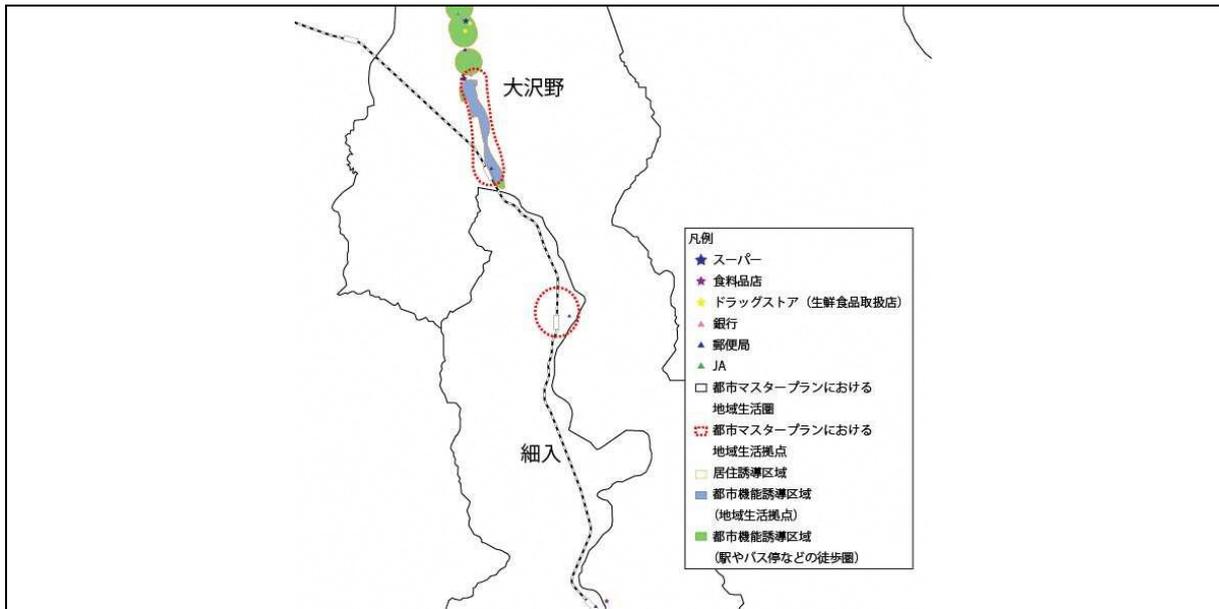


出所：富山市立地適正化計画より作成

(6) 施設立地

日常生活に必要な機能である医療施設（病院・診療所）、商業施設（食料品店・コンビニエンスストア）の立地をみると、楡原駅周辺に郵便局がある以外に立地がなく、その他の機能を求めるためには隣接する大沢野地域までいかなければならない状況です。

図表 13 民間施設立地状況

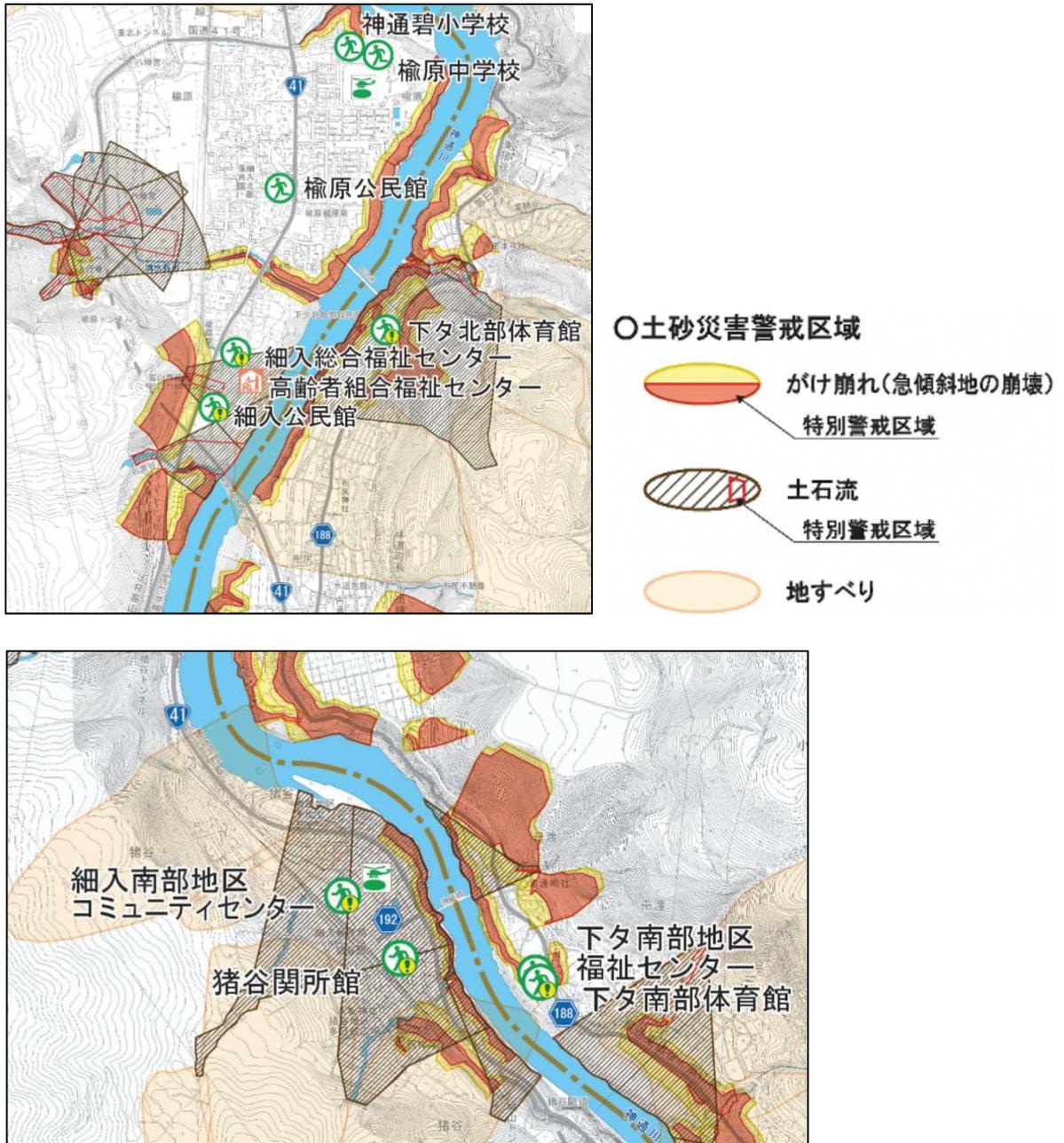


出所：富山市立地適正化計画より作成

(7) 防災

細入地域は山に囲まれた地域であるため、多くの場所が土砂災害警戒区域に指定されています。

図表 14 土砂災害ハザードマップ (抜粋)



出所：土砂災害ハザードマップ

3. 公共施設

(1) 現況

①地域の公共施設一覧

細入地域には公共施設が 16 施設立地しており、その総延床面積は、約 2.2 万㎡、人口 1 人あたりの延床面積は約 18 ㎡です。

図表 15 細入地域の公共施設一覧

No.	施設分類	施設名	延床面積 (㎡)	建築年度 (年)	利用者数 (平成 30 年度)
1	公民館	細入公民館	1,670.73 ㎡	昭和 60 年	2,185 人
2	公民館	細入南部公民館（細入南部地区コミュニティセンター）	891.63 ㎡	平成 23 年	2,734 人
3	その他集会施設	細入北部地区コミュニティセンター	215.59 ㎡	平成 16 年	291 人
4	図書館	細入図書館	266.00 ㎡	平成 21 年	6,474 人
5	博物館等	猪谷関所館	905.8 ㎡	昭和 62 年	5,803 人
6	プール	富山市猪谷プール管理棟	84.34 ㎡	平成 5 年	381 人
7	観光施設	飛越ふれあい物産センター「林林」	456.30 ㎡	平成 4 年	409,425 人
8	観光施設	割山森林公園「天湖森」	1,171.36 ㎡	平成 9 年	8,569 人
9	宿泊・入浴施設	岩稲ふれあいセンター「楽今日館」	3,972.31 ㎡	平成 8 年	121,482 人
10	小学校	神通碧小学校	2,023.71 ㎡	平成 21 年	54 人（児童数） （R 元年 5 月時点）
11	中学校	榆原中学校	5,638.28 ㎡	昭和 56 年	33 人（生徒数） （R 元年 5 月時点）
12	保育所	ほそいり保育所	675.41 ㎡	平成 21 年	29 人（園児数） （R 元年 5 月時点）
13	高齢者福祉施設	細入総合福祉センター	1,489.30 ㎡	平成 13 年	4,631 人
14	支所	細入中核型地区センター	1,900.05 ㎡	昭和 47 年	-
15	消防署	大沢野消防署細入分遣所	219.22 ㎡	平成 18 年	-
16	市営住宅	榆原西部団地（市営住宅）	1,664.00 ㎡	昭和 53 年	-

②各施設の配置

細入地域の公共施設は、楡原駅と猪谷駅の周辺に多く整備されています。特に、楡原駅周辺には、中核型地区センター、集会施設、図書館、消防分遣所、保育所などの機能が集積しています。

猪谷駅周辺では、集会施設やスポーツ施設などがあります。

図表 16 細入地域の施設配置図

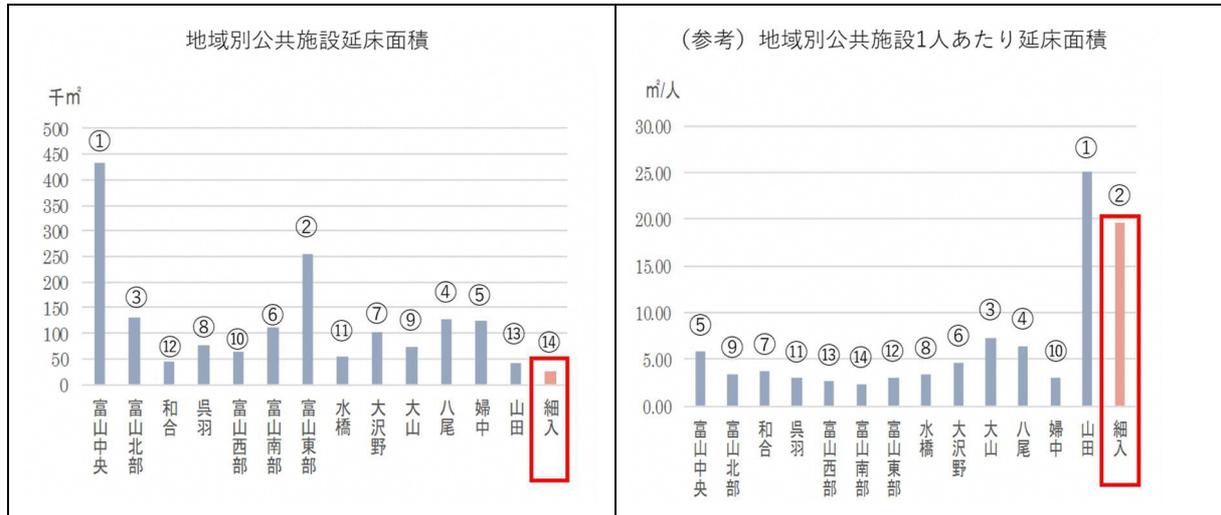


(C)OpenStreetMap contributors

③細入地域の公共施設の状況

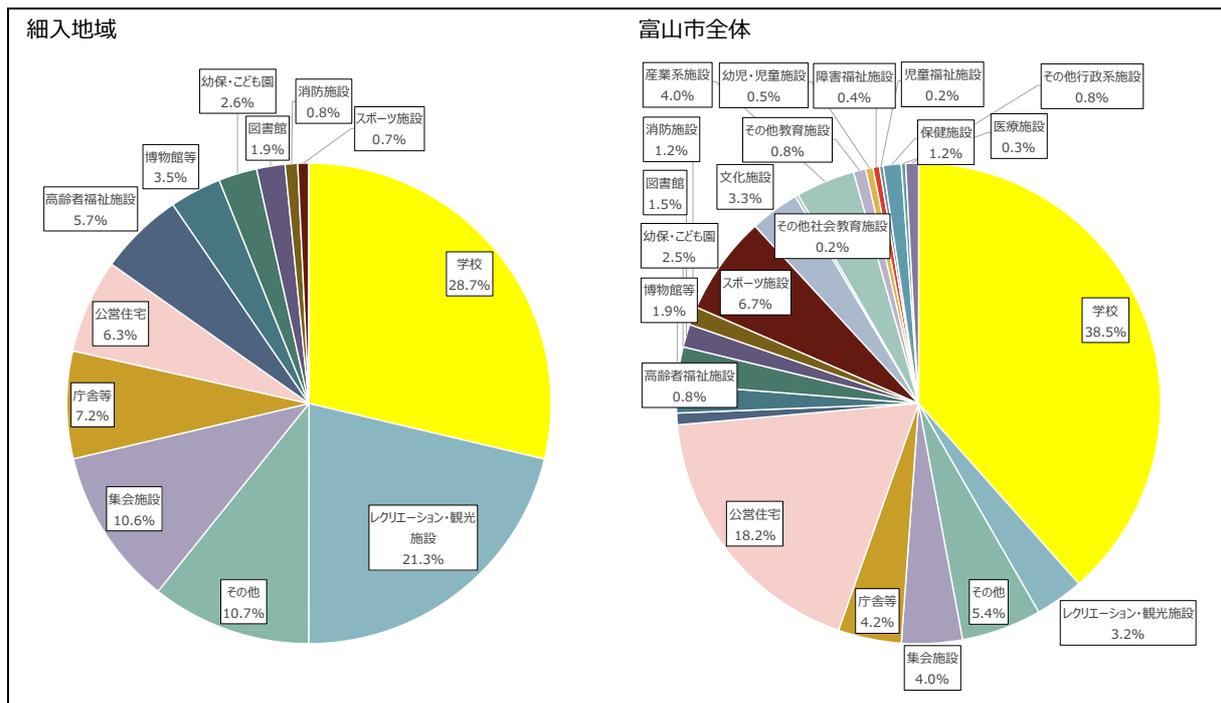
公共施設の保有量をみてみると、細入地域は富山市内の 14 地域のうち最も少なくなっています。一方、人口 1 人当たりの延床面積は、14 地域中 2 番目に多くなっています。

図表 17 細入地域の公共施設の状況



細入地域の公共施設の内訳をみると、学校が最も大きく約 29%、また、レクリエーション・観光施設が約 21%と高い割合になっています。富山市全体と比較すると、集会施設とレクリエーション・観光施設が 5 ポイント以上多くなっています。

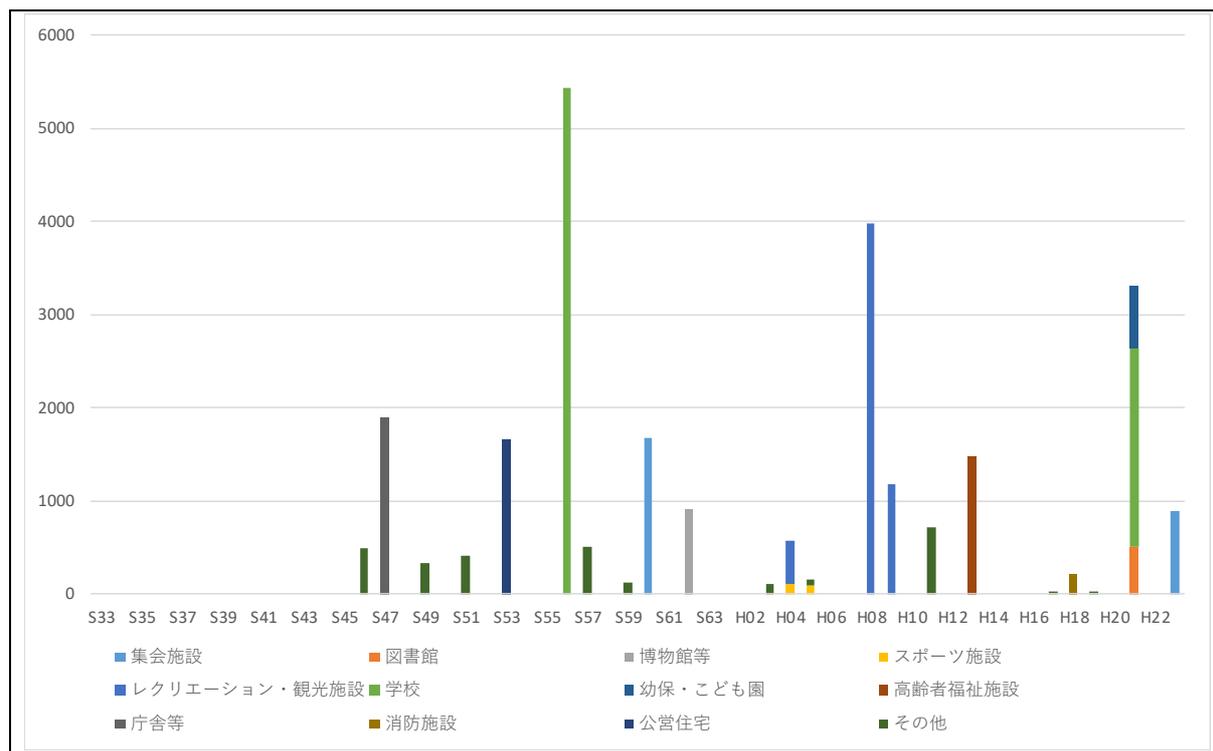
図表 18 細入地域の公共施設内訳 (延床面積)



公共施設の整備年別延床面積をみると、昭和 56 年を中心とした昭和 40～50 年代 と、平成 8 年に多く整備されていることがわかります。昭和 56 年は「榎原中学校」、平成 8 年は「楽今日館」、平成 21 年は「神通碧小学校」が建設されたタイミングです。

昭和 40～50 年代に建設された施設は現在、築 40 年程度経過していることから、老朽化が進み、改修や建替え、修繕が必要になってくることが予想されます。

図表 19 細入地域の公共施設の整備年別延床面積



(2) 課題

細入地域の総人口は減少傾向であり、今後も減少が続くと予想されています。年齢区分別にみると、年少人口、生産年齢人口、高齢者人口のいずれの区分においても大きく減少し、特に生産年齢人口の減少率が高くなっています。

スーパーや病院などの生活に必要な機能が地域内にはなく、また、JR 高山本線と富山地方鉄道のバスが主要な交通手段となっていますが、利便性が高いとは言えない状況です。

今後、高齢化が進むことが予想されることから、誰もが生活しやすい地域づくりが必要となります。

図表 20 公共施設に関する地域の皆さんのご意見等

施設分類	ご意見
集会施設	<ul style="list-style-type: none"> ● 集会施設は基本的に自分の地区のものを使う。稼働率は悪いかもしれないが、地域の南北が 12km 程あるため、夜の会合時や高齢者の利便性を考えると、南北それぞれに公民館は必要だ。 ● 若い世代は公民館をほとんど使わないので、なくなっても支障はないのではないか。 ● 細入公民館は地域住民のプラスバンド部の拠点になっていたりして、地域コミュニティにとって大切な場になっている。 ● 細入北部地区コミュニティセンターは利用の際の制約が厳しいこともあって、ほとんど使ったことがない。ただ、特定の人が利用しているようなので、その人達の意見を聞いた上で、地域や民間に管理運営を任せて維持することを含めて、今後の方向性を検討してはどうか。 ● 地元へ譲渡されても、現状のような制約があると自由な運営ができないので問題だ。地域で検討した使い方の提案やルールを尊重してもらえば、地元へ譲渡してもらって運営することを視野に入れても良いと思う。 ● 猪谷は峠に囲まれているのに加え、公共施設が少ない。災害時に道路が遮断された場合のことを考えると、避難所として細入南部公民館が果たす役割は大きい。 ● 集会施設内にシェアオフィスと光回線のネット環境が整備できれば、地域内だけでなく地域外の人でも使うようになるのではないかと。
図書館・博物館等	<ul style="list-style-type: none"> ● 細入図書館には新しい本が多く、地域住民だけでなく保育所の園児も利用しているので残してほしい。 ● 猪谷関所館は、特急が停まる猪谷駅にも近く、外国人も含めて観光客がよく訪れている。富山市の南の玄関口としてシンボリックな役割を果たしていると思う。 ● 猪谷関所館は、貴重な展示物がある良い施設だと思うが、人が来なければ活性化しない。国道沿いの南部地区センターなど、もう少し交通の便が良く、

施設分類	ご意見
	<p>人が集まる場所に移転しても良いのではないか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 猪谷関所館では展示だけでなく、イベントや研修、講座なども行われていて、市内の子ども達の社会教育の場としても重要な場所になっている。もっと PR などの運営面を工夫すれば、猪谷のシンボルとなる魅力的な施設になる可能性があると思う。
スポーツ施設	<ul style="list-style-type: none"> ● 榆原プールを神通碧小学校のプールとして利用することになったので、元々利用していた地域住民は猪谷のプールに行くしかない。猪谷プールが廃止されると困ってしまうので、廃止するならば神通碧小学校のプールを地域住民に開放してほしい。 ● 猪谷地区には子どもが少なく、その子ども達も榆原プールを利用している。利用者はほとんどいないので、毎日管理人を置くくらいなら廃止しても良いのではないか。
レクリエーション・観光施設	<ul style="list-style-type: none"> ● 天湖森、楽今日館、林林を運営する株式会社ほそいりは市の第三セクターで、細入地域の住民も株主になっている。3つの施設には思い入れがあるし、簡単になくされてしまうのは困る。 ● 現場の従業員だけでなく経営陣も含めてアイデアを出したり、観光やまちづくりのノウハウを持った民間企業の力を借りることで施設を活性化させ、市に頼るのではなく自らが儲けることを考えなければいけないのではないか。3つの施設をまとめて大きくすることも考えられる。 ● 富山市の中心部にも温泉施設ができて観光客が減ってきているので、楽今日館などの観光施設にもっと人を集めるためには PR が重要になる。施設のポテンシャルはあると思うので、市にはそういうソフト面をサポートしてほしい。 ● 楽今日館に総合福祉センターにある入浴機能などの高齢者が利用する施設を移転し、バスを活用して地域内だけでなく地域外の高齢者も訪れる憩いの場にすると利用率が上がるのではないか。お湯はとても良いので、効能をアピールすることも大切だ。 ● 林林は交通の便が良く利用客もいるのだから、人気のある野菜直売のコーナーを充実させたり、コンビニのような店舗を入れたりして儲ける努力をしたら良い。ただし、18時以降は交通量がかなり減るので、コンビニの商売が成り立つかという懸念はある。
学校・保育所	<ul style="list-style-type: none"> ● 富山市中心部に勤務する人が多いため、保育所の送迎の時間を考えて地域内の保育所を敬遠してしまう、学校が選択できるようになって生徒数の少ない学校を避ける人が増えたなどの状況を反映して、地域内の保育所や学校に通う子どもの数が減少してきている。 ● 規模を縮小したり、複合化しても構わないので、保育所、小学校、中学校は地域に残したい。それが若い人の定着につながる。図書館や児童館もあるので、保育所も小学校に移転してはどうか。 ● 学校が選択制になり、部活動のことなどを考えて人数の多い学校を選ぶ人が

施設分類	ご意見
	<p>増えたため、地域内の中学生で楡原中学校に通っている生徒は少ない。人数が少ないことの利点やポート部があるという特色を生かし、生徒を集めて中学校を存続できると良い。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 子ども達が放課後に自由にのびのびとできる居場所が必要だ。 ● 旧南部保育所の建物が残ったままになっているが、不審者が立ち入ったり動物の住み処になったりする恐れがあるので、速やかに解体した方が良い。
保健施設	<ul style="list-style-type: none"> ● 総合福祉センターにはリハビリ用の設備は整っているが対応できる職員がいないため、リハビリをするには大沢野まで行かざるを得ない状況になっている。せっかく設備があるのもったいない。 ● 総合福祉センターの空きスペースを地元の物産売り場として活用できると良い。
庁舎等	<ul style="list-style-type: none"> ● 細入地域は高齢者が多いので免許などを取るために遠方まで行くのは大変だ。中核型地区センターの建物はなくなっても良いが、行政機能は地域内に残してほしい。 ● 中核型地区センターは老朽化しており、耐震性に不安があるので、隣接している細入公民館か総合福祉センターに統合してはどうか。複合化によって今の規模よりも小さくなるのは構わない。 ● 中核型地区センター、総合福祉センター、細入公民館を複合化できると、利用率の向上につながるのではないかと。児童館も一緒にすれば放課後の居場所ができるのでなお良い。 ● 総合福祉センターに、中核型地区センターと細入公民館の機能を複合化する場合には、現在の細入公民館にあるホールと同規模の多目的スペースや調理室を確保してほしい。ホールや調理室がなくなると、会議やイベントの開催、ブラスバンドの活動などに支障が出る。

(3) 課題の解決策

公共施設の課題に対する解決策について、6つの視点²（地域の活性化、変化する社会ニーズへの対応、利便性の確保、安全性の確保、利用しやすさ・運営の工夫、効率化・財政負担の軽減）に沿って、まちづくり・公共施設全般に関する課題解決の方向性をまとめました。

図表 21 まちづくり・公共施設全般に関する課題解決の方向性

視点	課題解決の方向性
①地域の活性化 若者・観光客にとっての魅力が足りない。	<ul style="list-style-type: none"> ● 地域のシンボルでもある施設の取り組みを工夫する、空き家対策を行うことなどにより、若い人が魅力を感じ、地域外からも人が訪れる施設づくりやまちづくりを行う。 ● 民間施設や企業誘致に努める。 ● コミュニティ活動に使われる場を確保する。
②変化する社会ニーズへの対応 社会ニーズと実態に乖離があり、利用・稼働の少ない施設が散在している。	<ul style="list-style-type: none"> ● 利用者が少なくても地域にとって大切な施設があるため、利用者の声を聞きつつ需要を見極め、必要なものを残していく。 ● 施設形態は変わっても、子どもや高齢者のための機能や庁舎機能は地域のために残していく。 ● 現状において不足している医療、買い物などの機能を新たに取り入れることも考慮する。 ● 複合化により、利用率の向上や施設への新たな価値の付加を図る。
③利便性の確保 利便性の確保に不安・懸念がある。	<ul style="list-style-type: none"> ● 機能の質を維持しつつ統廃合を進めることにより、施設の利用価値や利便性を向上させる。 ● 大沢野と間の交通利便性の確保策を検討する。
④安全性の確保 適正な避難所配置・災害対策への不安・懸念がある。 空き家への懸念。	<ul style="list-style-type: none"> ● 公共施設は、避難所ともなることを考慮しつつ再編を進める。 ● 避難所や避難経路の安全性を確保する。 ● 防犯、耐震、景観などを考慮して、廃止されたまま残っている施設や空き家の解体・活用を検討する。 ● 中山間地という地域特性をふまえた避難所配置を検討する。

² 6つの視点は、細入地域の皆さんからいただいたまちづくりや公共施設に関するご意見を整理、まとめることで設定しました。

視点	課題解決の方向性
⑤利用しやすさ・運営の工夫 利用・稼働の少ない施設が散在している。 管理者側に工夫の余地がある。	<ul style="list-style-type: none"> ● 利用ルールの改変、積極的な PR、施設を利用した新たな取り組みの開始など、管理主体の工夫により施設の利便性向上や活性化を図る。 ● 民間のノウハウを取り入れて運営面を強化する。 ● 積極的に利用するなど、地域の人も施設を維持するための努力を行う。
⑥効率化・財政負担の軽減 老朽化の進む施設、稼働の少ない施設が存在する。	<ul style="list-style-type: none"> ● 民間への管理・運営委託により、施設維持の方法を模索する。 ● 耐震性の不足や老朽化が懸念される施設、利用率の低い施設は、利便性が変わらないのであれば統廃合を検討する。 ● 利便性が向上する場合は施設の移転を検討する。

(4) まとめ

細入地域の課題として、人口減少、生活に必要な機能が地域内に不足していること、公共交通の運行頻度の少なさ、観光資源が活かしきれていない点などが挙げられました。また、公共施設の課題として、利用率が低い施設があることや、利用者のニーズと機能が合わなくなってしまった施設があること、施設の老朽化や耐震性の課題などが挙げられました。

これらの課題の解決に向けては、地域の活性化につながる地域活動の場や観光資源の活用、施設の複合化や多目的化による施設の利便性の向上、適正な避難所配置による安全性の確保、運営の工夫による利用率の向上、民営化や民間施設の活用による効率化を図ることなどが想定されます。

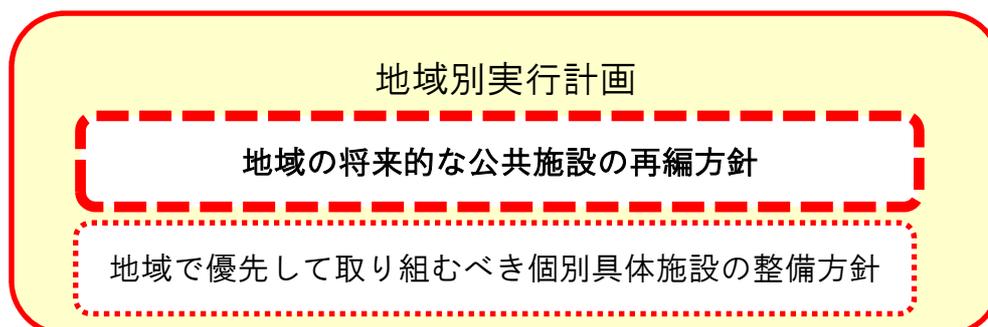
まちづくりと連携し、課題の解決に向けて公共施設の再編を進めていくことが求められます。

4. 地域の将来的な公共施設の再編方針

地域の皆さんからいただいた公共施設の課題とその解決策を受け、それらをより具体化させるため、第1章で触れたとおり、本計画では施設の用途別に、

- ① 将来にわたる整備方針を定める「地域の将来的な公共施設の再編方針」
- ② 施設としての課題がより大きいものや地域の課題解決に直ちに資すると思われるものについて、速やかに事業を進めるための具体的な整備方針を定める「地域で優先して取り組むべき個別具体施設の整備方針」

の2つの項目を定めます。



このうち、地域の将来的な公共施設の再編方針については、今後の方向性に従い、具体的な中長期的取り組み（5～20年を目途）、短期的取り組み（5年を目途）を定め、この方針に基づいて再編を進めます。

見方

対象施設	△△センター、□□センター
今後の方向性	富山市公共施設等総合管理計画に基づいた方向性を記載しています。 合わせて、ワークショップでいただいたご意見を反映させた八尾地域独自の方向性も記載しています。
具体的な中長期的取り組み	中長期（ <u>5～20年を目途</u> ）で取り組んでいく内容について記載しています。 ここに記載された内容について取り組みを進めた結果、実際に施設の再編を行う場合には、必要性を鑑みて地域の皆さんのご意見を伺いながら進めていきます。
具体的な短期的取り組み	短期（ <u>5年を目途</u> ）で取り組んでいく内容について記載しています。 ここに記載された内容について取り組みを進めた結果、実際に施設の再編を行う場合には、必要性を鑑みて地域の皆さんのご意見を伺いながら進めていきます。

(1) 集会施設

対象施設	細入公民館、細入南部公民館（新館）、細入北部地区コミュニティセンター
今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ● 細入地域の地理特性を考慮し、2地区の集会機能は維持する。さらなる人口減少が著しい状況となった場合には適正なコミュニティ施設のあり方を改めて検討する。 ● 防災上の必要となる避難施設の適正配置を検討する。 ● 利用者の利便性向上に向け、地域で運営することにより、地域コミュニティの上でより密接な連携が図れると考えられる場合は、地元団体への管理運営委託等、運営体制の見直しを行う。
具体的な中長期的取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ● 北部・南部それぞれの集会施設の機能を維持するが、将来的な人口推移を見極めて、それぞれの施設の規模や集会施設の集約化を検討する。
具体的な短期的取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ● （細入北部地区コミュニティセンターについては、優先して取り組むべき個別具体施設の整備方針の中で検討する。）

(2) 図書館、博物館等

対象施設	細入図書館、猪谷関所館
今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ● 猪谷関所館については、より多くの方に利用してもらうために、積極的な PR や他の施設との機能連携により利用者増を図りつつ、機能を維持する。 ● 細入図書館については、利用率や地区センター等との連携を踏まえ、適正配置に向けて検討する。併設施設との関係性も考慮しながら、廃止や統合も視野に入れて見直しを行う。
具体的な中長期的取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ● 細入図書館は、学校のあり方を踏まえ、整合する形で将来の方向性を検討する。
具体的な短期的取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ● 民間活力の導入を検討し、積極的な PR や他の施設との機能連携により利用者増を図っていく。

(3) スポーツ施設（体育館、プール、その他スポーツ施設）

対象施設	猪谷プール（管理棟）
今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ● 猪谷地区以外からの利用者もいるため、利用状況等の動向を注視していく。 ● 利用率が低い施設は運営方法の改善を行いつつ、将来にわたって改善が見込まれないことが判断できる場合や、大規模改修が必要となった場合は廃止する。
具体的な中長期的取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ● 利用者の安全を確保しながら運営を継続していく。ただし、利用状況が著しく悪化した場合や、大規模改修が必要となった場合には、施設を廃止する。
具体的な短期的取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ● 施設の維持運営を適正に行うため、他のプール利用者との公平性や受益者負担

取り組み	の観点から、利用料金の設定を行う。
------	-------------------

(4) レクリエーション・観光施設

対象施設	割山森林公園「天湖森」、道の駅細入「飛越ふれあい物産センター林林」、岩稲ふれあいセンター「楽今日館」
今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ● 地域の活性化や防災機能の強化につながる機能の導入について検討する。 ● 多くの方に利用してもらうために、積極的な PR や更なるサービスの充実により利用者増を図っていく。 ● 利用者増に向けて、民間のノウハウを活用して運営の工夫を行う。
具体的な中長期的取り組み	－
具体的な短期的取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ● 利用者にとって魅力的な施設となるよう民間のノウハウを活用して運営の工夫を行う。 ● 観光施設としての機能に加え、地元の住民も活用できるよう、機能の強化を目指す。

(5) 学校（小学校、中学校）

対象施設	神通碧小学校、楡原中学校
今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ● 適正な教育環境の確保という観点から、今後の小中学校の統廃合や存続の可能性について、あらゆる選択肢を検討した上で、地域の意見も踏まえながら継続的に見直しを進める。
具体的な中長期的取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ● 児童生徒数の推移を見極めながら、今後の小中学校のあり方について見直しを行う。
具体的な短期的取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ● 適正な教育環境の確保という観点から、児童生徒数の推移を見極めながら、地域における今後の小中学校の統廃合や存続の可能性について、あらゆる選択肢から検討を進める。

(6) 幼保・こども園（保育所）

対象施設	ほそいり保育所
今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ● 子どもの将来的な人数を想定した上で、ニーズに対応した施設を確保するとともに、園児数を見極めながら運営する。
具体的な中長期的取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ● 施設の老朽化や園児数の減少が著しい状況となった場合は、あり方を見直す。
具体的な短期的取り組み	－

(7) 保健施設

対象施設	細入総合福祉センター
今後の方向性	● 利用者の利便性向上に向け、周辺施設との再編に併せ、複合化や多機能化を 実行する。
具体的な中長期 的取り組み	－
具体的な短期的 取り組み	● (優先して取り組むべき個別具体施設の整備方針の中で検討する。)

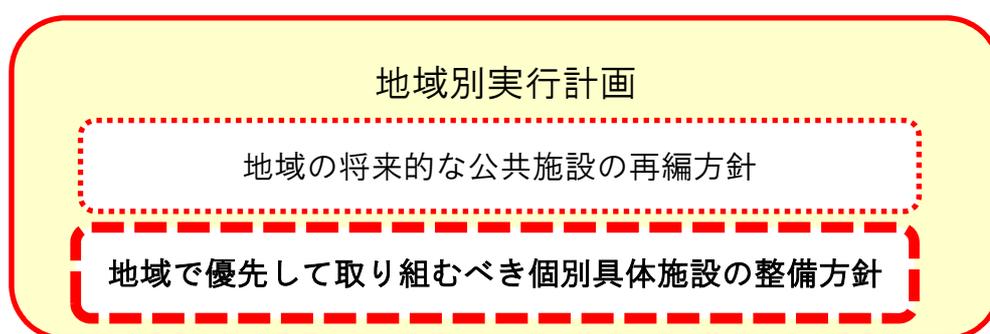
(8) 庁舎等、消防施設、その他行政系施設

対象施設	細入中核型地区センター
今後の方向性	● 老朽化が著しいことから、他施設への機能移転を図る。
具体的な中長期 的取り組み	● －
具体的な短期的 取り組み	● (優先して取り組むべき個別具体施設の整備方針の中で検討する。)

5. 地域で優先して取り組むべき個別具体施設の整備方針

公共施設の中でも、特に課題が大きいものや、地域の課題解決に直ちに資すると思われるものについては、重点的かつ迅速に事業を進めるために「地域で優先して取り組むべき個別具体施設の整備方針」を定め、この方針に基づいて速やかに再編を進めます。

細入地域においては、施設の老朽化などの課題が挙げられ、また市としても第1次アクションプランにおいて重点的に取り組むこととした庁舎の再編と、地域の皆さんのご意見や、課題解決の方向性（図表 22）などに基づき、速やかに取り組むことが必要で、かつ地域の課題解決に資すると市が判断した細入北部地区コミュニティセンターの再編の2つの項目でこの方針を定め、取り組んでまいります。



(1) 細入中核型地区センターの再編

①再編の経緯

細入中核型地区センターは、昭和47年の建築以来47年が経過し、老朽化が著しく、耐震性も低いことから、安全性に大きな問題がある状態となっています。また、内部の機能も更新が図られておらず、利用者にとっては大変使いづらい施設となっていることから、その再編は喫緊の課題となっています。こうしたことから、中核型地区センターの再編を実施するものです。

②概要

細入中核型地区センターは、細入北部地区のJR 楡原駅近くに位置し、路線バスも運行しているなど、交通アクセスのよい立地となっていますが、上記のとおり老朽化の進展に加え、空きスペースが多く、過大な規模となっています。

ワークショップでは、中核型地区センターの再編に際して、隣接する細入公民館や細入総合福祉センターと併せて検討していく必要があるという意見が出され、議論が行われました。

現在、細入公民館は築34年が経過し、バリアフリー化もなされていないことから、老朽化や利便性の面で大きな課題となっています。一方、同じく隣接する細入総合福祉センターは、築17年であり、施設内はバリアフリー化されていることから、使いやすい施設となっています。また、施設内のデイサービスは廃止になるため、

空きスペースが発生することとなり、既存の諸室と併せて活用していくことが可能となります。

このような状況を踏まえ、議論の中では公民館も合わせて複合化した方がよいこと、多くの機能を複合化することにより拠点性が向上すること、比較的新しい建物でバリアフリー化されている総合福祉センターに複合化することで利便性が向上するといった意見が多くありました。

こうしたことから、細入中核型地区センターについては、機能を細入総合福祉センターに移転するとともに、併せて細入公民館の機能についても移転することで、3施設の複合化による再編を行うこととします。



細入中核型地区センター

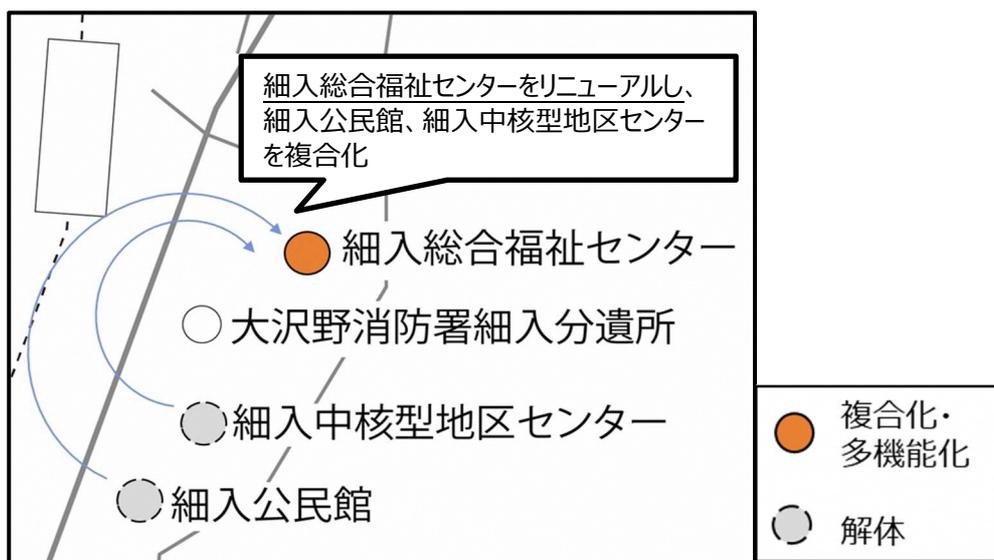


細入総合福祉センター



細入公民館

図表 22 整備方針の概略図



③再編を行うことによる効果

この再編を行うことによる効果は次のとおりと考えられます。

- 行政機能、コミュニティ機能、福祉機能の新たな拠点が形成され、相互連携など、柔軟な運営が期待される。（課題解決の方向性の視点①⑤）
- バリアフリーに対応した施設となることで、利用者の利便性が高まる。（上記視点③）
- 老朽化した旧庁舎・公民館の2施設の複合化が図られる。（上記視点④⑥）
- 今後50年間のコストを試算した結果、現状維持した場合は54.9億円、複合化を行う場合には28.5億円となり、財政効果が期待される。（上記視点⑥）

④再編にあたっての留意事項

再編にあたっては、以下の事項に留意することとします。

- 複合施設のリニューアルにあたっては、既存の機能の再編も含めて検討し、現在の行政機能とホール、会議室、調理室などのコミュニティ機能が維持できるよう努める。
- ホール機能についてはプラスバンドの活動など、現在の細入公民館で行われている活動が不自由なく行えるようなスペースの確保に努める。
- 複合化にあわせ、従来の高齢者の利用を想定した用途だけでなく、様々な世代にとって利用しやすい、地域住民が集まりやすい施設とすることを旨とする。
- 現状の細入中核型地区センターは、移転完了後、適切に解体する。

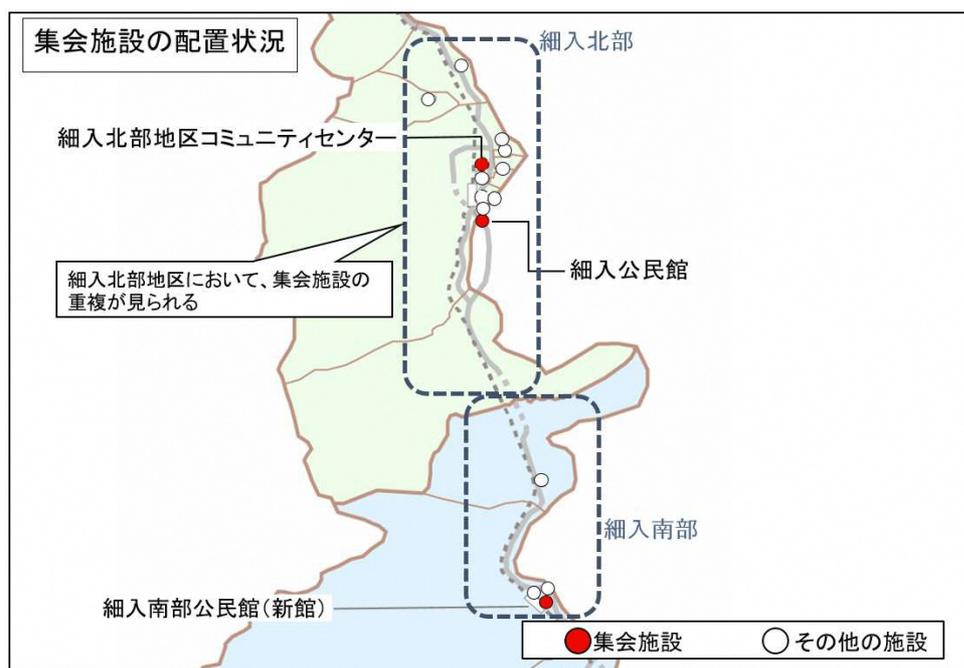
(2) その他の施設の再編

①概要

その他の施設については、細入北部地区コミュニティセンターを対象とします。

地域の皆さんのご意見や、課題解決の方向性（図表 22）などに基づき、速やかに取り組むことが必要で、かつ地域の課題解決に資すると市が判断したため、優先して取り組むべき施設と位置付けました。

図表 23 集会施設の配置図



図表 24 集会施設の利用状況

施設名	地区	延床面積 (㎡)	建築年度	利用者数 (人)			コスト(H30) (千円)
				H28	H29	H30	
細入公民館	細入北部	1670.73	昭和 60 年度	2,425	2,433	2,185	8,223
細入北部地区 コミュニティセンタ ー	細入北部	215.59	平成 16 年度 (譲受年)	394	561	291	816
細入南部公民 館 (細入南部 地区コミュニテ ィセンター)	細入南部	891.63	平成 23 年度	3,375	3,420	2,734	13,214

細入北部地区において集会機能の重複が見られることや、利用率が著しく悪い状況にあることから、活性化を図るため、次のとおり再編を進めていきます。

細入北部地区コミュニティセンターは地元や民間への譲渡を図るが、譲渡できない場合は廃止する。
(課題解決の方向性の視点⑤⑥)

②再編にあたっての留意事項

- 譲渡等に向けて、今後の活用の方向性を検討する。

(3) スケジュール

細入中核型地区センターの再編については、老朽化が著しく、早期の対応が必要であることから、令和2年度より速やかに着手し、令和4年度からの供用開始を目指します。

また、細入北部地区コミュニティセンターについては、令和6年度までに再編を完了する予定とします。

6. おわりに

本地域では、「5. 地域で優先して取り組むべき個別具体施設の整備方針」で定めたとおり、細入中核型地区センターと細入公民館を細入総合福祉センターに複合化し、行政サービス等の充実を図ることで、地域の方々の利便性向上につなげていきます。また、地域で優先して取り組むべき個別具体施設の対象となっていない公共施設については、「4. 地域の将来的な公共施設の再編方針」に基づき、必要に応じて地域の皆さんのご意見を踏まえ、整備の方向性を検討、決定していきます。

本計画は、単なる公共施設の縮減を目的としたものではなく、新たなまちづくりの契機となるよう、地域の実情やニーズを踏まえ、公共施設等の再編を具体的に進めていくために定めた基本方針です。市では、細入地域というコミュニティがこれからも継続的に発展していくよう、今回いただいたご意見をはじめ、地域にお住いの方の思いを大切に、地域が抱えている様々な課題の解決に向けて、長期的な視点をもって住民の方々と一緒に取り組みを進めてまいります。

地域別実行計画

—細入地域—

令和2年3月

編集・発行 富山市企画管理部行政経営課
〒930-8510 富山市新桜町7番38号
TEL 076(431)6111 (代表)